

# 議会だより

No.111 平成21年9月定例会 10月16日発行

議会ホームページアドレス <http://www.city.nanyo.yamagata.jp/webs/gikai/>

## 主な内容

○9月定例会	2
○予算特別委員会	3・4
○決算特別委員会	5
○一般質問	6・7
○常任委員会審査報告	8
○委員会行政視察報告	9・10
○置広議会報告	10
○議会のしくみ	11
○山形県市議会議員研修会	12
○請願審査結果表	12



## 投げる・打つ・取る・基本を大切に

沖郷ホープス野球スポーツ少年団は、沖小・梨小の子供達が野球の基本を大切にしながら、楽しんで活動しております。

昨年は、県大会で初優勝し東北大会に出場、他県のレベルを肌で感じる事ができました。

野球はチームスポーツです。ベンチも含め全員で練習や試合に臨み、励んでいきますので、応援よろしくをお願いします。



元気にがんばる子どもたち(14) 沖郷ホープス野球スポーツ少年団



## 9月定例会

9月定例会は2日から18日までの17日間の会期で開かれました。市長から議案の説明があり、4議員が一般質問を行い市当局の考えを質しました。

提案された議案は、報告1件、諮問案1件、条例・その他6件、補正予算案8件、決算認定案12件で、原案のとおり可決されました。また最終日には追加議案として、議員発議案2件、同意案1件が提案され、それぞれ原案のとおり可決されました。

### ▲報告▼

○平成20年度南陽市健全化判断比率及び資金不足比率の報告について

### ▲諮問▼

○人権擁護委員の推せんにつき意見を求めることについて

任期満了に伴う選任

佐藤 隆志（再）池黒一六〇

### ▲条例・その他▼

○財産の取得について

防災拠点施設用地として市土地開発公社から5039.57平方

メートルの土地を取得するもの  
○財産の取得について

赤湯中学校及び沖郷中学校のスクールバス2台を取得するもの  
○南陽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

○南陽市道路線の廃止について

① 萩生田長瀬線（萩生田）

② 寺町線（漆山）

③ 矢ノ目西落合線（池黒）

④ 萩生田中央線（萩生田）

○南陽市道路線の認定について

① 寺町線（漆山）

② 矢ノ目中落合線（池黒）

③ 西寺町線（漆山）

④ 池黒南線（池黒）

⑤ 上野西1号線（上野）

⑥ 上野西2号線（上野）

⑦ 上野東線（上野）

⑧ 上野中線（上野）

⑨ 雷前線（三間通）

⑩ 萩生田中央線（高梨）

⑪ 畑田2号線（高梨）

⑫ 高梨萩生田線（高梨）

⑬ 萩生田中落合線（萩生田）

⑭ 西落合長瀬線（萩生田）

⑮ 長瀬北1号線（長瀬）

⑯ 長瀬北2号線（長瀬）

⑰ 大作北線（和田）  
⑱ 大作長瀬線（和田）

○南陽市沖郷体育館の指定管理者の指定について

## 追加議案

### ▲同意▼

○南陽市教育委員会委員の任命について

任期満了に伴う選任

本間 宗一（再）赤湯一六二の三

## 議員発議

○日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める意見書の提出について

○政府備蓄米をルールに基づき買入れることを求める意見書について



観光ぶどう園

# 平成21年 9月定例会補正予算の概要

補正予算額 18億8,757万円

内訳 ( 一般財源 8,732万円 )  
( 特定財源 18億0,025万円 )

一般会計 146億2,076万円に

(単位：千円)

1) 共同アウトソーシング事業	34,200	7) 女性特有のがん検診推進事業費	5,085
2) 福祉振興基金積立金	2,680	8) 園芸振興対策事業補助金	34,640
3) 障害者自立支援事業	5,323	9) 乾燥調整施設等リニューアル対策 特別支援事業補助金	20,000
4) 障害者自立支援対策 臨時特例交付金事業	4,360	10) 小学校スクールバス購入	5,500
5) 児童扶養手当	3,699	11) 小学校改築整備事業	985,569
6) 子育て応援特別手当交付事業	32,334	12) 中学校改築整備事業	703,550

## 主な補正項目

## 予算特別委員会による質疑

9月14日、予算特別委員会が開催され、子育て支援や中学校統合に関する問題等について活発な質問が出されました。なお、主な質疑内容については次のとおりです。

### 一般会計

#### ◎収入全般について

〈議員〉 政権交代で補正予算凍結等の報道があるが、市政運営に支障はないか。

〈企画財政課長〉 県とも相談しているが今の段階では不透明である。  
〈市長〉 基本的には支障ないと考えている。権限強化にはなるだろう。凍結や停止はないと思うが、基金の凍結はあるのではないか。

#### ◎数田アパートの下水道接続について

〈議員〉 市で管理している数田アパートは、現在浄化槽処理しているが、付近の住民より悪臭がひどいとの苦情が出ている。下水道に接続する予定はあるか。

〈企画財政課長〉 把握していない。調査した上で検討したい。

#### ◎子育て支援について

〈議員〉 子供1人当たり26,000円になることで、配偶者控除が廃止となるというのが、影響はどうか。また、対象人数は。

〈企画財政課長〉 今の段階で把握していない。

〈議員〉 他の自治体で試算しているところもある。試算すべきではないか。

〈企画財政課長〉 10月になれば作成することになる。

#### ◎合併浄化槽について

〈議員〉 前知事により、補助が凍結されてきたが、今はどうなっているか。

〈福祉課長〉 福祉施設については、平成40年まで利子補給確保されている。

〈市民課長〉 今は県が補助しないので、国で1/3、市で2/3補

助している。

〈議員〉 今後の見通しはどうか。

〈市民課長〉 厳しいのではないかと、今後とも要望していきたい。

◎農林予算について

〈議員〉 県知事が変わり、マニユフェストで農林予算を1.5倍とするといっていたが、どうか。

〈農林課長〉 園芸、リニユーアール等、4つの事業がきている。

〈議員〉 知事は農地・水・環境向上対策事業は、2,200円/反になっているが、全国レベルにするといっていたが、進捗状況はどうか。



〈農林課長〉 県内で全国レベルの

4,400円/反を実施しているのは4市のみである。本市は、来年度から実施する方向で検討する。

〈議員〉 使い道が限られており、大変使いにくい補助金になっている。余っている団体もあると聞いている。どう考えているか。

〈農林課長〉 今後はもう少し使いやすいようになることを期待している。

◎学校給食について

〈議員〉 米飯給食の増や米粉利用への考えは。

〈学校教育課長〉 地産地消の観点から10月から米粉パンの導入を考えている。米飯給食も増やしていきたい。

◎赤湯駅前駐車場について

〈議員〉 赤湯駅前駐車場に不当に駐車している車が見受けられるが、対策は。

〈市民課長〉 4月～6月にかけての指導業務で、毎日という訳ではないが1日平均15台止めてあった。市民のモラルの問題と考えている。駐車時間1時間としているが、守ってもらえない、指導員がいると違



スクールバス

うようだ。モラルの向上に努めた

い。

〈議員〉 モラルだけでなく、有料化にはどうか。

〈建設課長〉 地総債で造ったものであり、有料化はできない。

〈市民課長〉 指導員を常駐させるしか方法はないと思う。

◎中学校バス通学について

〈議員〉 漆山の生徒はどうなるのか。

〈学校教育課長〉 バス通学は、中川・梨郷が対象である。基準が6km以上なので漆山は考えていない。羽村地区等遠い地区については、冬以外は自転車通学とし、冬期間は安全面を考えバス通学できない

か検討している。

〈議員〉 バス以外はどうか。

〈学校教育課長〉 市単独でも可能であるが、予算的に難しい。他の学校バス・市民バスで可能か検討したい。

〈議員〉 冬期間だけか。

〈学校教育課長〉 PTA会長とも話しているが、冬以外は自転車のほうが良いといっている。

◎中学校制服について

〈議員〉 吉野中学校の時は、無償配布した経過があり、不公平にならないようにしてほしい。

〈教育長〉 PTAとの最終話し合いが29日に予定されており、不公平にならないように再度検討したい。

◎学校整備について

〈議員〉 学校耐震整備等で何10億の工事が予定されているが、出来る限り地元産木材を利用してもらいたい。

〈市長〉 地元だけで出来るか心配だが、地産地消で進めたい。地元業者で可能なような設計をお願いする。監視チームを教育委員会にもうけたい。

※地総債（地域総合整備事業債）…… 地方自治体が単独でする公共施設の整備に充当される地方債で、返済費用の90～75%が交付税措置される。（01年度に廃止。）

## 平成20年度

(一般会計)

歳入

歳出

## 一般会計・特別会計 水道事業会計・下水道事業会計 決算を賛成多数で認定

129億3,439万2千円

123億1,781万1千円

9月14日、決算特別委員会を開会し、付託された12件の決算審査を行い、原案のとおり認定されました。なお、審議内容は以下のとおりです。

# 決算特別委員会による質疑

## 一般会計

### ◎財政指数等について

〈議員〉 財政指数は前年より良くなっているが、未収金は年々増えている。どのように捉えているか。

〈企画財政課長〉 財政指数は、決して良い数値とはいえないが、今後とも健全化に向けて努力したい。

〈副市長〉 職員一丸となって努力しているが、なかなか厳しい。平成20年度はインターネット競売もやった。数値だけでなく少しでも良くなるようにしていきたい。

〈市長〉 対策項目は172項目に於いて大半が終了している。自治体ではどうしようもないので、市長会等で要望していく。

〈税務課長〉 収納率向上に向けて努力しており、全体では前年度より1.8%増の98.1%になった。めりはりのある徴収の成果が表れ、初めて滞納額が減となった。

### ◎学校林について

〈議員〉 吉野中学校の学校林の間伐本数が実際と違うのは何故か。

現地を見てきたが山頂まで舗装道路であった。細木を残し木だけを400本も切りながら収支0はおかしいのではないか。間伐とは思えない。あれは皆伐だ。報告は良とされたのか。

〈教育次長〉 調査の結果、406本であった。

〈教育長〉 対価発生しないとの報告であった。

〈議員〉 どのように感じたか。

〈教育長〉 後世に美林を残すという観点と思う。

〈教育次長〉 62年間育てた木であるので検討したい。さらに現地を調査して報告させてもらう。

〈議員〉 納得のいく報告をして欲しい。

### ◎青年教育推進事業について

〈議員〉 200万円の使い道は。

〈社会教育課長〉 全てが事業に充てられたものではない。

〈議員〉 活動は自費ということか。実践の年とされている21年度はどうか。

〈社会教育課長〉 そうなると思う。



伐採された学校林

21年度で予算化している。5団体をサポートし、その都度出している。かぼちゃ事業の経費については、そのグループで出している。イベントには支出していきたい。

### ◎地方債について

〈議員〉 地方債が165億円になった。ここ数年減少しているが、今後も繰上償還していくのか。今後は学校関係で増えると思うがどうか。

〈市長〉 平成22年をピークに減少する予定だったが、学校関係のため平成24年がピークになる。今後は繰上償還しない方向でいきたい。政権交代でもっと良い方法があれば増える可能性はある。

## 市政に対する議員の 一般質問と答弁要旨



本市の消防力、公共施設への  
洋式トイレ導入について

高橋 篤 議員

◎署、消防団に配置されているポンプで、耐用年数の過ぎたものがあるのか。また、今後の整備計画について。

〈市長〉更新目安の経過しているポンプは、消防署では3台、消防団では19台となっている。整備計画としては、ポンプの性能検査結果及び運用状況など総合的に判断し整備をしている。

◎防火水槽等の消防施設の整備計画について。

〈市長〉消防水利及び警鐘台については、消防水利基準との整合性を図りながら整備し、素掘りなどの耐震性のない防火水槽の改修整備をしていく。しかし、市街地で

は用地の確保が大変困難であるという課題もある。警鐘台については、消防団緊急伝達システムやホース乾燥塔に切り替えて整備を進めている。現在まで緊急伝達システムについては12基整備している。今後も順次整備をしていく。

◎公共施設への洋式トイレ導入について。

〈市長〉小中学校、公民館を含む34箇所のうち、30箇所に設置をしている。今後の導入計画については、学校施設や公共施設を新たに整備する時に、使用状況等を十分に検討をし対応していく。

◎堆肥投入助成制度について。

〈市長〉堆肥散布面積が年々増加し耕種農家、畜産農家の連携が図られ農業の進展に一定の役割を果たしている。本年度からはその趣旨を継続し、農業生産工程管理の支援を組み込み制度を改編し、有機農業総合支援事業としていく。



誰もが安心して利用できる  
介護保険制度に

佐藤 明 議員

◎4月に導入され、世論のきびしい批判を浴びて、検証中の新しい要介護認定制度について、厚労省は「非該当者および軽度者の割合は増加した」と述べ、新制度で認定が軽度化する事業を認め、利用者への74項目の聞き取り調査のうち、43項目の基準を見直す案を提示し了承されたが、どのように見直しされるのか。

〈市長〉この10月から①本人や家族から日頃の状況を聞き取りし、より頻度の多い状況を反映すること。②介護放棄や老老介護の状況を判断し適正介助の状況を反映すること。③体の一部をつかまないとできない場合、「何かにつかまればできる」とすることで自立との差異を反映すること。④介助の機会がない場合であっても類似行為

から介助の状況を反映すること。その他にも「座位保持」ができるかどうか、「1分間」から「10分間」の保持の変更等、個別の調査項目が修正されることになっている。

◎認定結果見直し後の検証は。

〈市長〉4月の見直し後、現場に混乱を来たし、わずか半年でまた見直しされることになり、国においては介護保険制度に対する信頼を回復するためにも検証を行い、その結果について説明責任があると考えている。一次判定で非該当となった方3人に対し、近々再度申請されるよう連絡し、10月から見直し後の認定調査を改めて受けていただきたいと考えている。

◎特別養護老人ホームの待機者は。また、対策はどのように考えているのか。

〈市長〉8月末現在、市内の特老と老健施設の4施設合わせて、市内在住の方で225名いる。対策については、今後の国の施設整備等に対する動向、政策を注視し、的確に対応してまいりたい。





ナラ枯れ被害防止対策について再度問う

片平 志朗 議員

◎山々のいたる所で紅葉になった様なナラ枯れ被害が拡大の一途をたどっております。現在の被害の状況は。

〈市長〉平成20年度の被害木調査結果は、国有林38,900本、民有林28,361本の合計67,261本となっている。今年度のナラ枯れ被害状況については、現在調査を実施している。調査完了後に被害木処理業務の発注をする。

◎合成フェロモンによる防除の成果と実用化の用途は。

〈市長〉昨年度、防除実証試験地を県内44カ所に設置し、1カ所で4万匹以上を駆除した実績がある。本市では梨郷地区総合公園南の市有林で、県が実施主体となり、防除実証試験中である。試験結果を踏まえ、平成23年度の実用化に向

け検討中である。

◎防除助成制度と伐木材活用補助金制度は。

〈市長〉県の補助金交付事業として、みどり環境税を活用した山形県資源循環型防除モデル事業がある。この事業は、森林所有者、森林組合等が事業実施主体で対応できる事業で、ナラ枯れ被害木の伐採・造材・運搬路開設等が対象となる事業である。

今後被害が拡大する傾向があるので、県及び近隣市町村と調整しながら対応していきたい。



おとり丸太へのフェロモン装着



学校耐震補強及び中学校統合整備について

川合 猛 議員

◎耐震二次診断の結果と今後は。

〈教育長〉診断業務は、現状の調査、情報収集、構造計算そして耐震診断判定委員会の判定を受けて結果の報告となる。今年3月末に11棟、また7月末に7棟の結果報告があった。また6月補正により最後となる診断も発注したところである。その診断結果を受け社会面、技術面、予算面等の検討を行い、対策方針を決定し、実施設計に着手し工事の内容が固まり工事前に着手に学校及び保護者並びに地域の皆様に説明を行いたい。

◎中学校統合整備について。あと7カ月しかないが現在の状況は。

〈教育長〉現在は各中学校の「教育大綱」も出来上がり、統合する中学校間での教育のすり合わせも終了し、新しい中学校の教育理念

に叶った「統合中学校の教育大綱」づくりを進めているところです。

6月中旬に市内小・中学校の校長、教頭、教務主任を対象とした今後の中学校再編統合に関する基本的な考え方についての説明会を開催し、8月上旬に統合する6つの中学校のPTA会長、副会長、校長、教頭、教務主任を対象とした中学校再編事業説明会を統合中学校ごとに開催し、教育委員会としての基本的な考えをご理解いただいた。今後各統合中学校や保護者の要望等もお聞きし、3つの中学校統合準備委員会の総務部会・制服部会・学校部会・保護者部会・学校支援部会の中で計画に沿った中学校統合に向けた準備を進めていくことになっております。



耐震改築される宮内小学校

## 常任委員会審査報告

### 文教厚生常任委員会

◎南陽市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、国による緊急の少子化対策の一貫として出産にかかる被保険者の経済的負担を軽減することを主な目的とし、平成21年5月22日付けで健康保険法施行令の一部改正が公布され、改正の趣旨が緊急の少子化対策であり、社会保険制度と他の医療制度とのバランスを図るという意味で改正を行うものである。主な内容は、出産一時金を21年10月1日から23年3月31日まで暫定措置として4万円引き上げ、38万円から42万円に改正を行なうものである。審査の結果当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市沖郷体育館の指定管理者の指定について

本案は、南陽市公の施設に係る指定管理者の指定の手続き等に關



指定管理を受ける沖郷体育館

する条例の規定により、施設の指定管理者を南陽市体育協会に指定するものであります。審査の中で委員から、常駐する職員はいないのか等の質疑がありましたが、南陽市沖郷体育館利用者協議会を設置し鍵等を管理すること。また利用者協議会は沖郷スポーツクラブはじめ9団体であること。施設の包括的な管理は体育協会が行うとの説明がありました。審査の結果当局の説明を了とし、全員異議なく原案のとおり可決しました。

(委員長 高橋 篤)

### 産業建設常任委員会

◎南陽市道路線の廃止について

本案は、新潟山形南部連絡道路(赤湯バイパス)が3月に高梨、竹原間が供用開始し、側道附近の市道を新たに認定するために、4路線を一旦廃止するもの。現地で当局の説明を受け全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎南陽市道路線の認定について

本案は、赤湯バイパス工事が一部完了したことにより、側道附近の市道を新たに認定するものであり、また上野地区5路線は、上野フルーツランド整備に伴い新たに認定するもの。現地で当局の説明を受け全員異議なく原案のとおり可決しました。

◎日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める請願について

本請願は、現在問題になっている日米間のFTA及び日豪FTA・EPAは農産物の全面自由化につながり、日本農業を崩壊に導くもので、交渉は行わないことを国に意見書の提出を求めるもの。

自給率の低下や米を作る人がいなくなる等の意見が出されましたが審査の結果採択としました。

◎政府備蓄米をルールに基づき買入れることを求める請願について

本請願は、政府が20万トンの備蓄米を放出したことや、輸入小麦価格の大幅値下げにより、米価が大暴落しかねないことから、国及び関係機関に意見書の提出を求めるものです。政府が決められている備蓄米100万トンに不足する分11万トンを緊急に買い入れて暴落を防ぐべき。またミニマム汚染事故等を防ぐべきなど意見が出されましたが審査の結果採択としました。

(委員長 漆山 鏗一)



新たに市道認定された上野西2号線

※FTA(自由貿易協定)…物品の関税など、通商上の障壁を取り除く自由貿易地域の結成を目的とした2国間の国際協定。  
 ※EPA(経済連携協定)…締結国間での経済取引の円滑化、経済制度の調和など、様々な経済領域での連携強化・協力の促進等を含めたもの。



## 委員会行政視察報告

### 総務常任委員会

7月6日から8日まで沖縄県石垣・浦添市の視察を行いました。石垣市では、学校給食センターの運営を研修しました。

歴史は古く、昭和48年から一部8校を対象に業務を開始し、翌年9月から15校の完全給食を実施、現在18校5,200人分を調理配送している。献立の目安は週に米飯3回、麺とパン1回ずつとのことであった。保護者負担金は、小学校児童163円、中学校生徒180円であった。子供の数は、近年100人位ずつ減少しているが、民間委託の計画はないとのことであった。地産地消では、ブタ肉100%、米や野菜等は島内産は少なく、多くが九州や本州産を使っていた。一島一市である石垣市は、農業、畜産、水産、観光業が中心で、年間78万人近い観光客が訪れる。農産品では、パイナップル、マンゴー、ド

ラゴンフルーツ等が主力であり、米や野菜を栽培するための土地的条件整備がされていないようであった。

浦添市は、人口約11万人、平均年齢37.47歳で若者が多い、合計特殊出生率2.04でどちらも全国平均値から見ても活気ある行政であった。H18年総務省の「地域通貨モデルシステムの開発実証事業」の採択を受けた。3千万円の助成金で、市民、行政、事業所による協働のまちづくりの実現を目的とし、地域通貨「察度」（さつと）が誕生した。浦添市のみで通用し、市内53事業所が参加し多くの市民も、日常生活の中で、「お礼のきもち」として使い始めているとの事でありました。



(委員長 田中 貞一)

### 文教厚生常任委員会

7月8日から10日の日程で、石川県小松市と富山県黒部市の両市議会に視察研修を行いました。

小松市では「子育て充実プロジェクト」読書を通じた心の教育推進プロジェクトについて、小松市議会宮西副議長からも出席頂き、小児医療制度、マイ保育園登録制度、お寺こども教室等のプロジェクトの説明がありました。それぞれに課題もあるが施策については充実していると感じられた。

心の教育プロジェクトについては、豊かな心、学ぶ意欲、確かな学力と捉え、読書力の向上や朗読の啓蒙等で、小松市民読書の日を制定しているとのことでした。0歳からの絵本との出会いを推進するため、乳幼児のための「空とこども絵本館」が作られていました。また航空自衛隊小松基地も視察しました。防衛省からの基地関連予算を用途は制限されているが、市の事業に利用できることも財源的に大きいと感じられた。



(委員長 高橋 篤)

黒部市では、中谷市議会議長から出席を頂き、子育て世代支援プロジェクトについて説明があり、多様な就労形態から土日の保育実施、少子化対策として幼保一元化施設を平成20年4月から実施したが、問題等もあるとのことでした。子育てメニューの内容が一目でわかる「黒部市子育てガイド」が作成されており、その内容やファミリーサポート事業など多くの勉強をさせていた、いただきました。

今回の視察では、両市共に子育て支援について研修を行ないましたが、努力はしているものの出生率向上には結びついていないようでありました。

## 産業建設常任委員会

6月30日より岐阜県高山市と長野県須坂市の視察を行いました。

高山市は平成17年に近隣の9町村と合併し面積2,177km<sup>2</sup>の東京都に匹敵する日本一広い市です。秩序のある土地利用と優れた都市景観をつくることを目的に、「美しい景観と潤いのあるまちづくり条例」を制定。開発を行う場合は許認可申請の前に条例との整合性の有無が必要で、店舗面積の制限や建築物の高さ制限等により美しい高山市の景観を保護しております。また、第7次総合計画に基づき「住みよいまちは行きよいまち」を基本理念に「やさしさ、すみよさ、にぎわい、ゆたかさ」をめざしたまちづくりに取り組んでいました。子ども医療費の無料化や保育料軽減制度の第3子以降無料化制度、地域防災FM局の設置や、空家を活用した都市からの移住促進事業、そして、企業誘致取組みの中で投資額3,000万円以上の工場に固定資産税都市

計画税の10年間助成するなど、合併により経費削減された分を福祉や子育て支援等に活用しており、大いに参考になりました。

須坂市の「食と農の基本計画」は、公募による食と農の100人委員会からの提案を受け①ふるさとづくり・次世代へ②郷土食作り③安心して農業を続けるには④安全安心の食づくりの4項に取り組んでおり、農地の仲介を市が行い遊休農地の有効活用を促進し、家庭の女性や団塊の世代を対象に「市民農業大学」を創設して、野菜等の栽培の研修も行っており、大いに参考になりました。

(委員長 漆山 鏗一)



## 置賜広域行政事務組合議会報告

8月10日臨時会が開催され、4案件が上程され、全て承認されました。その中でもおまなものを報告します。

◎置賜広域行政事務組合手数料の徴収等に関する条例の一部改正について

本案件は、組合指定の可燃・不燃・資源ごみ袋の料金と容量及び形状を変更するものであり、来年4月より実施されることになりました。(詳しくは市報等を御覧下さい。)

◎平成21年度置賜広域行政事務組合一般会計補正予算について

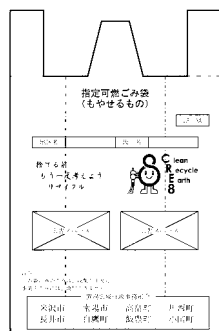
おまな補正の内容は次のとおりです。

- 広域交流拠点施設「ゆるっと」へのアクセス道路の整備事業。
- (工事期間21年度～22年度まで)
- 浅川最終処分場整備事業。現在の処分場は平成23年度で使用期限が終わる事から、新たに処分場

の拡張整備工事をするものです。○老朽化している長井クリーンセンターを廃止し、循環型社会形成推進交付金対象事業とする汚泥再生処理センターとして整備する事業。

(片平 志朗)

### 指定ごみ袋



改正後 (レジ袋タイプ)



現行 (平袋タイプ)

変更

## 市議会のしくみ


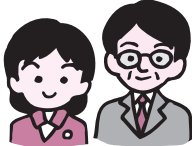

市民を代表して、住みよい南陽市をつくるため活動している南陽市議会。今回は市議会のしくみについて、みなさんにわかりやすくご紹介します。

### 市議会とは.....

市議会は、選挙で選ばれた議員が市民の代表となって市長や行政と話し合いをするところです。例えば、市の予算や仕事の方針を決め、行政の仕事が正しく行われているか調査し、意見を述べます。

市議会は、通常3月、6月、9月、12月の年4回開かれ、これを定例会と呼んでいます。必要があれば臨時会が開かれます。

### 市議会に関わっている人たち.....

<h4>市長</h4>  <p>市民から選ばれた、市の方針を決め市の将来を担う市の代表者です。予算や条例をつくり、市議会と話し合って決まったことを実行します。</p>	<h4>議員</h4>  <p>市民から選挙で選ばれた代表です。市民の要望を伝え、市長に話し合いを持ちかけます。また、行政の仕事が正しく行われているか調査します。</p>	<h4>市民</h4>  <p>自分たちの代表として市長・議員を選挙で選ぶことによって、要望や意見をまちづくりに反映させます。</p>
--	--	--

### 市議会の流れ

<h4>議案</h4>  <p>市長や議員が、予算や条例などについて提案します。これを基にして話し合いを行います。</p>	<h4>本会議</h4>  <p>市が行うことを決定する会議です。市の計画や仕事を行うかどうかを多数決で決めます。</p>	<h4>議決</h4>  <p>本会議で可決された議案は市長へ提出されて実行されていき、よりよい南陽市が作られていきます。</p>
<h4>請願・陳情</h4>  <p>市民の方々から直接市議会へ提案される要望です。これが各委員会で話し合われます。</p>	<h4>委員会</h4>  <p>仕事の分野別に担当の議員を決めて専門的に話し合いをします。各委員会で専門的に調査し意見を出し合って賛成反対を決め、本会議に報告します。</p>	<h4>意見書</h4>  <p>市だけでは解決できないものを国や県などに提出して、話し合ってもらいます。</p>

## 山形県市議会議員研修会

8月21日、山形国際交流プラザのビッグウイングにおいて研修会が開催されました。

講師には歴史家・作家の加来耕三氏を招き「歴史に学ぶ魅力ある戦国武将の英知と決断―リーダーの条件」と題しての講演を聴きました。加来氏は今放映中の大河ドラマ「天地人」はじめ、多くのドラマ等の時代考証や監修を手掛け活躍している方です。

南陽市からは18名の議員が参加し、講師のユーモアを交えての講演に聴き入りました。戦国武将の英知と決断の歴史から多くの事を学び、混迷する社会に、今こそ生かして下さいとの励ましの言葉を受けました。私たち南陽市議会議員も市民の代表として、この荒波を乗り切れることを決意しました。

### 平成21年9月定例会 請願審査結果表 H21.9.18

付託委員会	件名・請願者	審査結果
産業建設	日米FTA反対、農家経営の危機打開を求める請願書 南陽市漆山1068番地 南陽市農民連 会長 竹田 久一	採 択
	政府備蓄米をルールに基づき買入れを求める請願書 南陽市漆山1068番地 南陽市農民連 会長 竹田 久一	採 択

### 赤湯中学校ソフトボール部と交流

8月21日赤湯中学校ソフトボール部と市議会ソフトボール部との親善交流試合が赤湯中学校グラウンドで行われました。

毎年、女子ソフトボール部のある赤湯・宮内・沖郷の3中学校と平成12年から順廻りで親善交流試合を行っており、伊藤議長が激励の挨拶をし、佐藤監督から激励金を贈り、部活動を支援した後、競技が開始されました。

当日は、あいにくの天候となり時折激しい降雨の中、赤中先攻の5回戦で行われた。市議会が1回に3点を取り先行したが、赤中は若さと、実力を徐々に発揮し追い上げ、ホームランも飛び出して、5回には一挙6点をあげて8対3と逆転。市議会は、平均年齢が数倍上回るが、その裏3点を返し追いあげ健闘したがとどかず、赤湯中学校が8対6で勝利しました。市議会の過去10年間の対戦成績は、7勝3敗となりました。

### 編集後記

周りの山々も色つき始め、米や果樹の収穫も最盛期。自然の恵に感謝すると共に、改めて山形そして南陽の良さを実感する季節です。常に皆さんにわかりやすく心がけて作っている議会だよりですが、今回は市議会のしくみの頁を設けました。感想をお寄せ下さい。

委員長 板垣致江子  
副委員長 川合 猛  
委員 白鳥 雅巳  
片平 志朗  
松本 新一  
桑原 仁

